

コーシー列と完備性

$(X, d)$  を距離空間とする

定義 2.3.

$X$  の点列  $\{a_n\}$  が次を満たすとき、 $\{a_n\}$  はコーシー列であるという。

(条件)  $\forall \varepsilon > 0$  に対し、 $\exists n_0 \in \mathbb{N}$  s.t.

$$m, n \geq n_0 \Rightarrow d(a_n, a_m) < \varepsilon$$

コーシー列は、 $n$  が大きくなると近付いていく数列、あるいは収束しそうな数列と考えると理解しやすい。  
しかし、コーシー列が収束しない例も存在する。

例. 有理数全体に普通の距離をいれた  $(\mathbb{Q}, d)$  を考える。

$a_n \in \mathbb{Q}$  を、 $\sqrt{2}$  の小数点第  $n$  位までの数とする。すなわち、

$a_1 = 1.4$ ,  $a_2 = 1.41$ ,  $a_3 = 1.414$ , ... である。

すると、 $\{a_n\}$  はコーシー列になる。しかし、 $\{a_n\}$  は収束しない。

なぜなら、 $\mathbb{R}$  で考えれば、 $a_n \rightarrow \sqrt{2}$  であるが、 $\sqrt{2} \notin \mathbb{Q}$  だからである。

コーシー列になる証明.

$\forall \varepsilon > 0$  に対し、 $\exists n_0 \in \mathbb{N}$  s.t.  $\varepsilon > \frac{1}{10^{n_0}}$  とできる。

この  $n_0$  に対し、 $m, n \geq n_0$  とすると、小数第  $n_0$  位までは同じなので、

$$d(a_n, a_m) = |a_n - a_m| \leq \frac{1}{10^{n_0}} < \varepsilon \quad \text{とできる。}$$

$\therefore \{a_n\}$  はコーシー列である。

定義 2.4.

コーシー列が全て収束するとき、距離空間  $(X, d)$  を **完備 (complete)** という。

意味としては、完備  $\rightarrow$  キッチリ結んでいる。完備でない  $\rightarrow$  スカスカ。この風にもとらえられる。

例 (1). 先ほどの例でみたように、 $(\mathbb{Q}, d)$  は完備でない。

(2).  $(\mathbb{R}, d)$  は完備である。

(3).  $(\mathbb{C}, d)$  も完備である。

(4).  $(\mathbb{R}^2, d_2)$  も完備である。

(4)の証明.

$a_n = (x_n, y_n)$  とおき、 $\{a_n\}$  がコーシー列であるとする。

すると、 $\{x_n\}, \{y_n\}$  を考えたときに。

$\forall \varepsilon > 0, \exists n_0 \in \mathbb{N}$  s.t.  $m, n \geq n_0 \Rightarrow d(a_m, a_n) < \varepsilon$  かつ。

$d(x_m, x_n) = |x_m - x_n| \leq \sqrt{(x_m - x_n)^2 + (y_m - y_n)^2} = d(a_m, a_n) < \varepsilon$  となり。

$\{x_n\}$  はコーシー列になる。同様に  $\{y_n\}$  もコーシー列。

$\mathbb{R}$  は完備なので、 $x_n \rightarrow x, y_n \rightarrow y$  とできる。

今  $a = (x, y)$  とおき、 $a_n \rightarrow a$  を示す。

$\forall \varepsilon > 0$  に対し、 $\exists n_0 \in \mathbb{N}$  s.t.  $n \geq n_0 \Rightarrow |x_n - x| < \varepsilon, |y_n - y| < \varepsilon$

$\therefore d(a, a_n) = \sqrt{(x - x_n)^2 + (y - y_n)^2} < \sqrt{2\varepsilon^2} = \sqrt{2} \cdot \varepsilon$  となる。

$\therefore a_n \rightarrow a$  である。

証明の中で、 $d(a, a_n) < \sqrt{2}\varepsilon$  を示したが、これを示せば十分である。

なぜなら、最初に  $n_0$  をとるときに、

$\varepsilon$  ではなく、 $\frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}$  に対し  $n_0$  をとれば、すなわち、

$$\forall \varepsilon > 0 \text{ に対し } \exists n_0 \in \mathbb{N} \text{ s.t. } n \geq n_0 \Rightarrow |x_n - x| < \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}, |y_n - y| < \frac{\varepsilon}{\sqrt{2}}$$

とすればよいからである。

問題 metric sp.  $(X, d)$  を、

$$d(x, y) = \begin{cases} 0 & x = y \\ 1 & x \neq y \end{cases} \quad \text{で定義されているとすると。}$$

$(X, d)$  は complete であることを示せ。